

# 骨盤骨折に合併する尿路損傷に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年3月16日 ～ 2024年3月31日

〔研究課題〕 骨盤骨折に合併する尿路損傷に関する後ろ向き観察研究

〔研究目的・意義〕

骨盤骨折は、交通事故などに伴い発生する外傷の一つです。骨盤骨折には、他臓器の損傷を伴うことがあり、そのうち尿路の損傷は、患者さんの生活の質に大きな影響を与える場合があります。しかし、骨盤骨折に伴う尿路損傷の頻度や危険因子については、米国からの報告はいくつかあるものの、米国以外からの報告はほとんどなく、日本における実態は全く分かっておりません。本研究では、過去に当院で診療した骨盤骨折の患者さんの診療録を調査し、尿路損傷の頻度や危険因子を明らかにすることによって、今後の診断・治療の改善に役立つ知見を得ることを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2009年1月から2021年2月末までに帝京大学医学部附属病院外傷センターを受診され、骨盤骨折と診断された患者さんが対象です。未成年の患者さんは含みません。診療記録を閲覧し、患者さんの個人情報除くして、別の番号で匿名化し、背景(年齢、性別身長体重、既往歴・基礎疾患)、自覚所見、バイタルサインを含む診療経過、血液尿検査結果、画像診断結果、治療方法、治療経過(生死を含む最終転帰、入院日数、合併症等)等病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学医学部附属病院に所属する者に限られます。過去の診療録調査を調査するだけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。なお、すべてのデータは研究終了後に帝京大学臨床研究センターにて10年間保管され、その後に廃棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

#### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座講師)

研究分担者:中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

坂本哲也(帝京大学医学部附属病院長・救急医学講座主任教授)

河野博隆(帝京大学医学部整形外科学講座主任教授)

渡部欣忍(帝京大学医学部整形外科学講座教授)

鈴木卓(帝京大学医学部救急医学講座准教授)

黒住健人(帝京大学医学部救急医学講座病院准教授)

石井桂輔(帝京大学医学部救急医学講座講師)

松井健太郎(帝京大学医学部整形外科学講座講師)

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔泌尿器科内線 33709〕